

## 第4回「岡崎学～岡崎を考える」講座

会 期：平成20年11月15日（土）～平成21年1月24日（土）

会 場：コミュニティサテライトオフィス（松坂屋岡崎店6階）

参加者数：のべ 1,084名

<p>11/15 <b>紫のほへる妹</b> <small>いも ぬかたのおおきみ</small> <b>額田王をめぐって</b></p> <p>人間環境大学 花井しおり 講師</p> <p>出席者：160名</p>  <p>名鉄本宿駅にレリーフのある「額田王」と岡崎との関わりについて、万葉集の歌や日本書紀の記述をもとにお話いただきました。</p>	<p>11/22 『岡崎』のなかった頃の岡崎学 古墳時代～古代の西三河</p> <p>岡崎市美術館 副館長 荒井信貴 氏</p> <p>出席者：146名</p>  <p>「岡崎」や「三河」という地域の成り立ちをご説明いただくとともに、古墳から読み取ることができる古代の地域性についてお話いただきました。</p>
<p>11/29 <b>岡崎市の介護と介護予防</b></p> <p>岡崎女子短期大学 小野 隆 教授</p> <p>出席者：110名</p>  <p>岡崎市の抱える介護の課題・高齢化の現状をお話いただきました。また、要介護になる原因や自分の体力を知ることの重要性など、介護予防についてご説明いただきました。</p>	<p>12/13 400年を経て今なお残る 『岡崎二十七曲り』を見直す</p> <p>岡崎アーカイブセンター 木村剛也 氏</p> <p>出席者：157名</p>  <p>二十七曲りに関連する歴史をお話いただくとともに、それをまちづくりに活かす方法についてご提案いただきました。</p>
<p>12/20 <b>岡崎の今昔 ～岡崎の空は青かった～</b></p> <p>志賀為株式会社 代表取締役相談役 志賀為利 氏</p> <p>出席者：129名</p>  <p>昭和初期の岡崎駅や康生周辺の様子や、当時の岡崎の産業・教育などについて、ご自身の経験をもとにお話しいただきました。</p>	<p>1/10 <b>外国人からみた岡崎の魅力 - 多文化共生を目指して -</b></p> <p>愛知学泉大学 倉沢 幸 教授</p> <p>出席者：138名</p>  <p>多様な国からの外国人が来日し在住している岡崎市の現状と、子どもの教育など多文化共生に向けた課題について、お話いただきました。</p>
<p>1/17 <b>地域を世界に発信～三河国サムロック～</b></p> <p>株式会社DDR 代表取締役 安藤竜二 氏</p> <p>出席者：125名</p>  <p>「サムライ日本プロジェクト」発足の経緯、きっかけとなったさまざまな出会いや地域への思いについて、お話いただきました。</p>	<p>1/24 <b>印象に残る都市 ～愛され続ける都市空間の計画と教育～</b></p> <p>愛知産業大学 小杉 学 講師</p> <p>出席者：119名</p>  <p>「印象に残る都市」というキーワードを中心に、今後の岡崎の都市計画のあり方について、研究室の学生との取組みを紹介しつつ、ご提案いただきました。</p>